

IOCの東京の暑さ対策に関する準備状況に対するコメント（2018-2019）

	日付	イベント名	発言者	暑さ対策に関するコメント
2018年	7月12日	第6回IOC調整委員会 記者会見 (於:東京)	コーチ委員長	暑さ対策をしなければいけないということは思っています。すごく暑いときに大会をやるのは日本が初めてではないんです。7、8月にやれば自然の結果としてそうなるわけです。 とにかくどのような場合であっても、医療チームもちゃんと備えていることが大事だと思います。[中略]マラソンとか競技とか、そういうイベントのタイミングはできるだけ早くスタートすると、これは前の大会のでもそうだったんですが、暑さ対策として早期に出ることを考える、こういったことはIFでもよくこれまでの対処していることなので我々も注目し続けてまいります。
	9月12日	第9回IOCプロジェクトレビュー 記者会見 (於:東京)	コーチ委員長	(サマータイムについて)国内での議論を精査しているということであります。我々の方で酷暑に関して暑さの影響は特に選手ですけれども、観客に対する影響についても検討しております。マラソンのスタートは既に早朝と設定されていますが、まだ潜在性があるであります。4時40分が日の出ということで、サマータイムの導入でどうなるかなってことは考えております。[中略]よいソリューションではないかと我々考えます。 (暑さ対策について)今までの歴史、経歴について、また近年のデータについても報告を受けています。[中略]本当に私どもは評価しました。感銘を受けました。これは組織委員会の説明もそうですし、都の説明にも感銘を受けました。少なくとも私の目から見て両方とも評価できるものでした。
	11月25日	IOCバツハ会長知事面会 (於:東京)	バツハ会長	知事が暑さについて触れられましたが、これは我々の懸念事項でもあります。2020年に同じような暑さがやってきた時に備え、対策を検討しています。[中略]我々は、かなり暑い地域でオリンピックや他のスポーツイベントを開催した経験があります。ゆえに、IF関係者等の専門家で構成されるWGの意見は役立ちます。私たちが共に取り組めば、きっとうまくいくでしょう。
	12月1日	IOC理事会 東京2020プレゼン後の 囲み (於:東京)	武藤総長	エルデネル博士(IOC医事委員長)は、いくつかの競技について、暑さの観点から、午前のより早い段階に早める、ないし午後のスタート時間を少し気温の下がる時間帯まで少し繰り下げるといったようなことをおっしゃっていました。[中略]来週のCOCOMで、この問題を真剣に検討しようということになりました。
	12月5日	第7回IOC調整委員会 記者会見 (於:東京)	森会長	暑さ対策についてですが、バツハ会長をはじめ、これまで関係者からも懸念が示され、組織委としても、重要課題の一つとして取り組んでまいりました。[中略]今般、IOCの暑さ対策専門家グループからの提言を受け、選手への一層の配慮が必要な一部の競技において、競技時間の変更をすることにいたしました。
			コーチ委員長	(暑さ関係で)安全かどうか自信を持っているかということですが、IOCのまとめた医事専門家会合というのがあります。そこにはスポーツの代表もそれから、アスリートの代表も入っています。そこでどういう風に変更してほしいかということ特定いたしました。[中略]それは、アスリートの安全を守る、健康を守るという点からのレコメンデーションです。[中略]必ずや良き状況で大会ができるであろうということを確認したいと思っております。

	日付	イベント名	発言者	暑さ対策に関するコメント
2019年	2月1日	IOC-Tokyo2020ミーティング 記者会見 (於:東京)	デュビ エグゼクティブ ディレクター	東京の組織委員会が暑さ対策で計画を立案しているのは本当に驚くべき手腕なんです。日本でしかあんなに微に細までやれません。具体性の数字の高さ、水の提供ステーション、日よけとかあそこまで詳細について、すべてのところで観客、アスリート、あと馬まで考えているわけです。すべての細かい点をこの組織委員会は見ているわけです。ですから、去年の夏を経験しても同じ条件が2020年になったとしても組織委員会は本当に万全の準備が整えているだろうと、同じ状況になったとしても。前にも言ったことではありませんけれども、このような素晴らしい経験は決して汚されることはありません。準備が万全だから。
	5月23日	第8回IOC調整委員会 記者会見 (於:東京)	コーチ委員長	例えば暑さ対策とかそういったことに対して、対策がとられているということについてアップデートの情報を伺いました。
	7月23日	第10回IOCプロジェクト レビュー 記者会見 (於:東京)	コーチ委員長	具体的な暑さ対策などについて、[中略]選手村も含めて、本当にきちんと詳細に注意が向けられていると思います。
				IOCのタスクフォースがあります。暑さ対策に関する。まず最初に対応したのは、アスリートのパフォーマンスがどうなるかということで、それに基づいて調整をしなければならない種目、そしてアスリートの健康を守らなければならないものはどれかということを考えました。[中略]つまりマラソンとか競歩については時間を変更したり、[中略]色々な変更をしてきたわけです。したがって、そのような対策はもう既に打たれております。
	10月3日	IOC理事会 記者会見 (於:ローザンヌ)	バッハ会長	(暑さ対策の問題について)解決する自信はある。本日、組織委員会は色々な対応策を検討中であると確認した。テストイベントでの暑さ対策のテストもうまくいき、各IFと検証中である。また、結果についてIOCに報告してくれている。東京が真剣に選手と観客の健康と安全を考えていることが理解できた。
IOC理事会 東京2020プレゼン後の 囲み (於:東京)		武藤総長	特に暑さ対策については、ドーハの世界陸上の影響もあるんじゃないかと思いますが、これは東京は非常によくやってくれていると、テストイベントの暑さ対策も素晴らしかったと、いう話なんです。やはりまだ課題はありますね、ということで、我々もそれは十分に承知でありますので、引き続き今回の夏のこの一連のテストから学んだことをもとに、さらに暑さ対策をしっかりやって行くような方向でやっていきたいということを申し上げ、その点については、ご質問とも激論ともつかないお話が複数あったのですが、詳しく暑さ対策について申し上げました。それが非常に話題の中では大きなウェイトを占めていたということを申し上げます。	